

# news

2016.1  
No.031



平成28年1月4日 大ホールにおいて。

## 私たちの理念

心が通い、信頼される医療

## 私たちのめざす医療

1. 皆さまの権利とプライバシーを尊重します。
2. 充分な説明と同意のもとに、最新かつ安全なチーム医療を行います。
3. 地域に開かれた病院として、健康と福祉の向上に努めます。
4. 確かな医療技術と豊かな人間性を備えた医療人を育てます。

Kurume University Medical Center  
久留米大学医療センター

〒839-0863 福岡県久留米市国分町 155-1

☎ 0942-22-6111 (代)  
<http://iryo.kurume-u.ac.jp>

## Contents

新年のごあいさつ

ホームページリニューアルに関するお知らせ

西日本新聞に掲載されました

ノーマ・ジーン1月号に掲載されました

院内コンサートが開催されました

認定看護師のご紹介

## 新年のごあいさつ

### 丙申(ひのえさる)：これまでの頑張りが形になっていく

病院長 廣松 雄治



新年明けましておめでとうございます。昨年は、大学病院との機能分化により、医療センターは大きな変革changeの1年でした。4月に先進漢方治療センターや整形外科・関節外科センターを拡充し、足病変(フットケア)・皮膚潰瘍治療外来を新設いたしました。11月には地域包括ケア病棟を開設し、職員一同、一丸となって地域や社会のニーズにあった診療の提供に努めてまいりました。

今年は診療報酬の改定、新専門医制度や地域包括ケアシステムへの対応など医療環境の変革が続きますが、これらも当センターの発展のchanceと捉えて、叡智をもってchallengeしていきたいと考えています。

今年も「心が通い、信頼される医療」を理念に、患者さん中心の医療を実践し、病診連携を進めて、皆様に愛され信頼される病院を目指してゆきます。

職員一同、「チーム医療センター」として診療・教育・研究に努める所存です。

今年も皆様の温かいご指導、ご支援を賜りますよう宜しくお願ひ申し上げます。

### 羽ばたく医療センター

看護部長 井上 久子



新年明けましておめでとうございます。皆様のおかげで無事に新しい年を迎えることができました。

医療センターは、昨年4月大学病院と機能分化することで、「小さな総合病院」から「特徴ある地域密着型病院」へと変化しました。大学病院で手術を受けられた患者さんが、継続治療のために医療センターに入院されたり、医療センターで検査をされた方が大学に手術を受けに行かれたり、それぞれの特徴を活かした流れができております。11月からは地域包括ケア病棟が稼働し、主に整形外科の術後リハビリ、在宅復帰支援を役割とする病棟として利用される患者さんも増えしております。

今医療センターは、ピンチをチャンスに変え羽ばたき始めました。各自が自分に何ができるかを考え、患者さんに対して、点ではなく、線でつながったサービスの提供を意識し、職員一丸となって取り組んでおります。これからは「地域完結型医療」を目標に、一層地域の皆様に貢献できる病院を目指していきたいと思います。

今後とも、ご指導ご鞭撻のほど宜しくお願ひ申し上げます。

### ケアミックス型の医学部附属病院

事務部長 高木 正三



新年明けましておめでとうございます。

医療センターに平成27年11月から地域包括ケア病棟ができました。平成26年10月に回復期リハビリテーション病棟を設けましたから、一般病棟と併せてケアミックス型の病院になりました。

患者さんや他医療機関のニーズと医療行政の方向性を念頭に置き、自らが変化することに存在価値があるとの選択です。

医学部附属病院も「前例がない」ばかりにこだわっていると2025年モデルへの取り組みで一番大切なことのひとつである「地域のニーズ」とミスマッチが生じてしまいます。

今後の医療機関に求められるのは病床規模や病床の有無に関係なく、地域全体で支える「地域完結型の医療」になります。

こんな時代だからこそ私達は、久留米大学の目指す医療「患者さん中心の高度で安全な、地域に根ざした医療の推進」を今一度心がけていきたいと思います。

引き続き皆さまのご理解とご指導ご鞭撻をよろしくお願ひいたします。

## ホームページリニューアルに関するお知らせ

医療センターホームページがスマートフォンに対応しました

いつも当院のホームページをご利用頂き、誠にありがとうございます。

この度、スマートフォン版ホームページを新たに開設いたしました。(※多くの情報を公開している当院のウェブサイトのうち、一部のページを除いてスマートフォンでの表示に最適化させたものです。)

より速く、より高い利便性を持って、わかりやすく情報提供が行えるようホームページの内容をさらに充実して参りますので、今後とも宜しくお願ひいたします。



西日本新聞に掲載されました

「西日本新聞 平成28年1月6日 朝刊」(記事)

当院施設内にある久留米大学がんワクチンセンターと2企業(グリーンペプタイド、富士フィルム)共同開発による免疫治療薬「がんペプチドワクチン」を、2018年にも医薬品医療機器総合機構(PMDA)に薬事承認申請し、実用化を目指すとしています。

## 重症患者も延命効果

左側の肺に「移動したがん」(矢印部分)。  
「チチ」投合前(上)と比べ、「1回の投合後(下)」  
は大體「縮小している」とが分かる。

**ワード BOX** がんペプチドワクチン療法 患者のがん細胞の目印に似たタンパク質の一部（ペプチド）を皮下注射し、免疫の働きがあるキラーT細胞に攻撃対象を記憶させることで、がんを狙い撃ちする治療方法。久留米大が方式を開発し、3者のグループで治験を実施している。外科手術、抗がん剤、放射線に次ぐ「第4の治療」として期待される免疫療法の一つで、副作用がほとんどないのが特長とされる。久留米大が2013年7月に開設した「がんワクチンセンター」を拠点に研究を進めている。

# 久留米大と 2企業開発 18年にも承認申請 なんワクチン実用化へ

セ 度 の 病  
ンターでは現在、病状が准  
んだ患者が保険適用のない  
自由診療でワクチンの投与を  
受けている。治療費は自己負担で高額だが、医  
薬品となれば保険診療にな  
り負担が抑えられる。

同大で20年以上研究を継  
げるセントラ所長の伊藤義典  
悟教授は「健康的な道の  
りだったがゴーリーが見え  
きた。がん治療の主流にな  
るよう残りの手続きを譲り  
なく進みたい」と話していく  
る。(布谷真基)

ノーマ・ジーン1月号に掲載されました

ノーマ・ジーン1月号(Vol.225)に  
先進漢方治療センター  
惠紙 英昭先生が紹介されました。

▶ 揭載內容

「漢方とは?」「薬の飲み方」「メリットとデメリット」などをわかりやすく解説し、「セルフチェックによる体質診断」などを紹介しています。

This image is a composite of several panels from a Japanese magazine spread, likely related to health and traditional medicine. The panels include:

- A title panel at the top right: "漢方の基礎知識" (Basic Knowledge of Kampo).
- An explanatory panel below it: "漢方とは?" (What is Kampo?).
- A panel titled "漢の飲み方" (How to take Kampo) featuring a diagram of a person with arrows pointing to different parts of the body.
- A large central panel titled "陰陽五行説について" (About the Five Elements Theory). It contains a complex diagram showing the relationships between the Five Elements (木, 火, 土, 水, 金) and the Four Phases (陰, 雅, 乾, 坎), along with a detailed explanation of the theory.
- Two panels on the left side, each with a title starting with "説に基づくセルフチェック" (Self-check based on the theory). These panels contain tables with symptoms and their corresponding numbers, leading to a diagnosis.
- Two panels on the right side, also titled "説に基づくセルフチェック". These also feature tables for self-assessment.
- Two small panels at the bottom left, one titled "購入できる場所と費用" (Places to buy and costs) and another titled "体質別のおススメ" (Recommended by constitution).

The overall layout is dense with text and diagrams, typical of a comprehensive health guide.

## 院内コンサートが開催されました

平成27年12月23日(天皇誕生日)に、院内ボランティアコンサートがエントランスホールにて開催されました。今回ご協力いただいたのは、久留米信愛女学院中学校・高等学校合唱部の皆さんです。

開演時刻になった頃には、既に多くの入院患者さんやそのご家族の方でホールがいっぱいになりました。およそ40分間にわたり「もうびとこぞりて」「まきびとひつじを」などの定番のクリスマスソングから「朧月夜」「ふるさと」などの日本の民謡や童謡、ジョン・レノン「Imagine」、東日本大震災復興支援ソング「花は咲く」の合唱などを披露して頂きました。涙を流されて聞き入っていらっしゃる方もおり、美しいハーモニーの歌声に多くの方が心癒されたのではないでしょうか。



年末のお忙しい中、顧問の中島先生をはじめ、久留米信愛女学院中学校・高等学校合唱部の皆さんのご厚意とご協力があって実現することができました。本当にありがとうございます。

また、準備や片付けなどのボランティアとして参加して下さった方々、ご協力いただいた皆様に心より感謝いたします。



久留米信愛女学院中学校・高等学校合唱部の皆さん



多くの方にご参加いただきました



### 3 久留米大学医療センターニュース

## 認定看護師のご紹介

### 自分の足で元気に歩くことができるように大切な「足」を守る

皮膚・排泄ケア認定看護師 大北 美紀

当院では、平成27年4月1日から足病変(フットケア)・皮膚潰瘍治療外来(通称:フットケア外来)を新設しました。足病変には、胼胝(タコ)や鶏眼(ウオノメ)、陷入爪、潰瘍や壞疽などがあります。足病変を発症しやすい疾患は、糖尿病、透析患者、閉塞性動脈硬化症、変形性足関節症、関節リウマチなどであり、高齢者や自分で足のケアができない場合にはさらに発生リスクが高くなります。



特に、糖尿病がある場合には、血流障害による虚血や神経障害による足や足趾の変形があると、靴との摩擦によりびらんや潰瘍を形成したり、変形部に荷重が集中するために胼胝や鶏眼、陷入爪になりやすくなります。また、知覚が低下することで痛みを感じにくくなり傷に気づくのが遅れてしまったり、皮膚が乾燥しやすいため亀裂などにより潰瘍を形成しやすくなり、いったん傷ができると治りにくい状態になります。

爪の切り方、歩き方、靴の選び方や履き方、スキンケアなどの生活習慣が足病変の発症や増悪因子となることもあります。高齢者の場合は、足や爪にトラブルがあることで足や指先に力が入らず、身体のバランスがくずれてしまい、転倒してしまう危険性も高くなります。

足はからだを支える土台です。その足には、ゆっくり歩くときには体重の1.2倍の重さの荷重がかかり、そして1日歩く歩数の衝撃を受け止めてくれています。このような過酷な状況にある大切な「足」を守るために、自分の「足」に関心をもち、足や爪の状態を毎日よく観察し、足や爪のお手入れを行い、異常の早期発見と治療につとめることが大切です。

フットケア外来では、足病変の発症・再発を予防するために、まず、足の状態を観察し自分の足がどのような状態なのか、何に気をつけて生活をすればいいのかなど自分の「足」に関心をもってもらえるように関わっています。そして、患者さんの足の状態や生活スタイルに応じた足や爪のお手入れ方法、セルフケア方法、傷の手当てのしかたなどの指導を行い、自分の足で元気に歩くことができるように大切な「足」を守るためのサポートを行っています。



大切な「足」を守り生活を支えるためには、他職種による連携が必要です。入院患者さんの場合は、在宅支援カンファランスを行い、退院にむけての在宅療養環境の調整を行っています。また、褥瘡や下腿潰瘍、壞疽などの患者さんの場合は、久留米大学病院と合同で他職種によるフットケアカンファランスを行い、情報提示・共有、治療方針の決定を行っています。

フットケア外来が開設して9ヶ月。まだまだスタートしたばかりですが、いつまでも自分の「足」で歩くことができるように、患者さん的大切な「足」を守るお手伝いをしていきたいと思っています。「足」のことで困ったことがあれば、ぜひご相談ください。お待ちしております。

# 外来診療一覧

平成 28 年 1 月 1 日現在  
医局

診療科名	月	火	水	木	金
一般内科	満崎健志	高瀬文敬	眞島涼平	佐野晶子	下津浦康隆
呼吸器内科	今岡治樹 (午前)				松本久美 (午後)
消化器内科	杉山元 久賀征一郎	下津浦康隆	杉山元	消化器内科担当医 藤田博正 内田信治	久賀征一郎 下津浦康隆
循環器内科	甲斐久史 加藤宏司 原田晴仁 甲斐久史 (午後)	甲斐久史 新高瀬文敬 眞島涼平 甲斐久史 (午後)	甲斐久史 加藤宏司 原田晴仁 甲斐久史 (午後)	原田晴仁 新高瀬文敬	加藤宏司 原田晴仁 甲斐久史 (午後)
禁煙外来 月・火	甲斐久史 (午後)	甲斐久史 (午後)			
内分泌代謝内科	廣溝松崎健志 江口洋幸	廣溝松崎健志 江口洋幸	廣溝松崎雄治 江矢原洋敏郎	廣溝松崎雄治 江矢原洋敏郎	廣溝松崎健志
精神科	山田英孝	山田英孝 (午前)			山田英孝
(もの忘れ外来) (予約制)		山田英孝 (午後 初診)		山田英孝 (午前・午後 再診)	
小児科	大津寧 田中聰子	牛島高介 大津寧 山口紀子	大津寧	牛島高介 田中聰子	大津寧
(専門外来)	腎臓		腎臓	消化器・肝臓	腎臓・小児成人病
病理診断科		山口倫 (午後のみで完全予約制)			
整形外科・ 関節外科センター (午前)	大川孝浩 大川生拓也 野口幸志祐 田渕幸祐	樋口富士男 吉光一浩 伊藤弘雅 後光	大川孝浩 大川生藤井昌康 藤井浩也史博	樋伊野田鈴 口藤口渕木幸祐 弘幸祐 雅志祐 一康	樋口富士男 吉光一浩 井康博
(午後) (予約制)			大川孝浩 (第1・3のみで予約制)	野口幸志祐 田渕藤井弘雅 伊 (予約制) 稗田寛 (第2のみで予約制)	後藤昌史 (予約制)
リウマチ・ 膠原病センター	中島宗敏 佐野晶子	中島宗敏 弓削健太郎	竹尾正彰 鮎川竜祐	弓削健太郎 竹尾正彰	中島宗敏 竹尾正彰
リハビリテーション科	名護健	荻野美佐 志波直人 (第1火曜の午後のみで予約制)	柳東次郎 馬場敦子 田中順子 (第5)	田中順子	名護健
泌尿器科	林篤正		野口正典 (完全予約制)	林篤正	林篤正
皮膚科	十亀良介	十亀良介	十亀良介	十亀良介	十亀良介
眼科	大学病院非常勤医 (午前のみで完全予約制)			大学病院非常勤医 (午前のみで完全予約制)	
放射線科	財前翠 (午前) 内田政史 (午後)	財前翠 (午前) 内田政史 (午後)	財前翠 大学病院非常勤医	内田政史 財前翠	内田政史 翠
がんワクチン外来 (午前)		伊東恭悟 森田道	由谷茂輔 室岡大実 河岡奈 唐宇飛(隔週)	伊東恭悟 由谷正典 守屋普久子 古賀紀子	伊東恭悟 由谷茂輔 藤本雅信二郎 内坂寺瑞彦
(午後)		伊東恭悟 守屋普久子 古賀紀子	末由茂高 河野光一郎 岡部実奈 唐宇飛(隔週)	伊東恭悟 由谷正典 守屋普久子 古賀紀子	伊東恭悟 由谷茂輔 藤本雅信二郎 内坂寺瑞彦
先進漢方治療センター	午前・午後 予約制 恵紙英昭 (漢方精神科・内科)	午前・予約制 (漢方精神科・内科・産婦人科) 恵紙英昭 駒井幹 午後・予約制 (漢方精神科・内科) 恵紙英昭 沈龍佑	第3午後のみ・予約制 (漢方皮膚科) 清川千枝 (恵紙英昭)	午前のみ (漢方内科・小児科) 八木実 薬師寺和昭 午後のみ (漢方内科・女性外来) 龜尾順子	午前・予約制 (漢方精神科・内科) 恵紙英昭
足病変(ワツケ)・ 皮膚潰瘍治療外来	井野康	井野康	大学病院非常勤医 午前のみ	井野康	井野康

受付時間：午前8時30分～午前11時 診療日：月～金 麻酔科：術前診療のみ(予約制) 休診日：土・日・祭日・年末年始・盆休(8/15)

## 編集後記

新年明けましておめでとうございます。毎年、年の始めには「今年は〇〇〇をやろう」と心に誓うのですが、日々の生活に追われ実行できずに一年が過ぎ去っています。2016年も新たな誓いを立てよいよスタートします。医療センターでは時流に合わせながら変化の日々が続いており、なかなか落ち着いた状況になりませんが、今年の干支は「申」なのであっという間に一年が“さる”ことにならないように過ごしていきたいと思います。  
(C.I.)